

## A-5

### キルギス語の「始動」を表す補助動詞 \*

アクマタリエワ ジャクシルク

(日本学術振興会特別研究員／新潟大学)

【要旨】本発表は、キルギス語の「始動」を表す補助動詞形式 *V-(I)p bašta-*、*V-(I)p kir-* の意味用法の違いを明らかにすることを目的とする。従来の研究では、これらの補助動詞形式が存在することは指摘されているが、両形式を比較して論じられたものはない。本発表ではキルギス語の補助動詞 *bašta-* と *kir-* の違いは広義の文法的な条件 (①主動詞の意味的なタイプの違い、②共起する副詞相当句などの構文的な特徴、③形態論的な特徴) によって整理できることを主張し、次のような相違点を指摘する。

**bašta-** 「始める」: 主体の動作、現象、変化を表す動詞に接続可能。始動の開始局面を表す副詞相当句と共起することが多い。また、*-yli* (勧誘)、*-ñiz* (命令)、*-ba* (否定命令) のような接尾辞が後続可能である。

**kir-** 「入る」: 主体の変化を表す動詞には後続できない。動きの激しさ (強烈さ) を表す副詞相当句と共起することが多い。しかし、*-yli* (勧誘)、*-ñiz* (命令)、*-ba* (否定命令) のような接尾辞は後続できない。

#### 1. はじめに

キルギス語はチュルク諸語の一つであり、主として中央アジアのキルギス共和国で話されている。近年、キルギス語をはじめ、チュルク諸語の補助動詞について数多くの研究が活発に行われている (Johanson 1999, Anderson 2004, 2006, 大崎・シャミシエワ 2018, Ohsaki & Ebata 2021 等)。しかし、類型論的観点からの研究が盛んではあるものの、個々の補助動詞の意味用法や機能が十分に記述されているとは言えないのが現状である。本発表はこれまであまり取り上げられてこなかった「始動の局面 (以下、「始動」と記す)」を表す補助動詞に着目する。

キルギス語では「始動」を表す補助動詞として *bašta-* と *kir-* があげられる<sup>1</sup>。これらの補助動詞としての用いられ方を考察するにあたり、まず、本動詞としての語彙的な意味を確認しておきたい。*bašta-* の本動詞としての語彙的な意味は「始める」であり、ある事柄を意図的に起こすことを表す (例: *iš bašta-* 「仕事を始める」)。*kir-* の本動詞としての語彙的な意味は「入る」であり、外部にある人や物がある場所の中に移動すること (例: *üygö kir-* 「家に入る」)、或いは、ある新しい状態に移ること (例: *jumuška kir-* 「勤めに入る」) を表す。

これらが補助動詞として用いられる場合、動詞の *-(I)p<sup>2</sup>* 副動詞形に後接して「*V-(I)p bašta-*」、「*V-(I)p kir-*」という形式で用いられる。以下に発表者による両形式の作例をあげ、問題提起を行いたい。

(1) *Asan jaz-ïp bašta-dï.*

PSN 書く-CVB 始める-PST.3

「アサンは書きはじめた。」

(2) *Asan jaz-ïp kir-di.*

PSN 書く-CVB 入る-PST.3

「アサンは書きはじめた。」

\* 本研究は科研費 (研究課題 18H03578、21J40129、21H04346) 及び東京外国語大学 AA 研の共同研究課題「チュルク諸語における情報構造と知識管理—音韻・形態統語・意味のインターフェイサー」による成果の一部である。また本発表にあたって、新潟大学の江畑冬生氏をはじめ、同大学人文学部の方々から非常に有益なコメントをいただいた。またコメントをくださった先生方、およびキルギス語母語話者のコンサルタントの方々へ感謝申し上げる。

<sup>1</sup> 始動を表す補助動詞形式には他の補助動詞形式 *V-(I)p kal-* (大崎・シャミシエワ 2018)、*V-(I)p čik-* などもあるが、これらの補助動詞形式は「完了」を表す点でも共通しており、本発表の考察対象から外し別稿において議論する。

<sup>2</sup> *-A/y* 副動詞接尾辞も存在するが、*V-A/y bašta-* 形式は使用されるものの、*V-A/y kir-* 形式は存在しない。そのため、*V-A/y bašta-* 形式は今回の考察と比較対象から外す。

この2つの例文では別々の補助動詞形式が使われているものの、両形式ともに共通して「～しはじめる」という「始動」の意味を表す。両形式の間に相違点はないのだろうか。相違点があるとすれば、どのような違いがあるのだろうか。この点を具体的な事例の調査・分析によって明らかにする。

## 2. 先行研究

チュルク諸語の多くの言語で *bašta-* と *kir-* は補助動詞として幅広く使われている (Nasilov 1978, Ščerbak 1981, Anderson 2004, 2006 等)。Ščerbak (1981: 134) は *bašta-* と *kir-* を補助動詞として挙げているのみである。Nasilov (1978: 136-137) は、チュルク諸語 (古代チュルク語、ウズベク語、カラカルパク語、タタール語、トゥバ語、サハ語など) の補助動詞リストを提示している。そこで、キルギス語の *bašta-* に相当するものは *начинательность* 「始動」と記されているのに対して、*kir-* に相当するものは *интенсивность* 「強度」と示されているが、これ以上の詳細な記述はほとんどなく、「始動」と「強度」とは具体的にはどういうことなのかについては言及されていない。また Anderson (2006: 346) は、チュルク諸語の北東グループのトファ語の補助動詞 *kir-* について言及しており、“In Tofa, the verb ‘enter’ is one of several that have been grammaticalized within auxiliary verb constructions in the function of an inchoative (始動) or inceptive (起動) marker” と触れられているのみである。

## 3. 調査方法

本稿の調査では、基本的にキルギス語の新聞 *Kirgiz Tuusu* (2020年1月～12月)、*Ėrkin Too* (2020年1月～12月) のそれぞれ1年分ずつのデータを用いる。そこではキルギス語の標準語が使用され、比較的規範的な用例が抽出できると考えるからである。また、補助的に、文学作品やインターネット検索により調査の不足を補うこともある。本発表の考察対象となる全用例数 (文学作品やインターネットなども含む) は *V-(I)p bašta-* 306例、*V-(I)p kir-* 223例である。

## 4. *bašta-* と *kir-* の違い

*bašta-* と *kir-* の違いについて考察する際、*bašta-* と *kir-* の用例に現れる広義の文法的な条件 (①主動詞の語彙的な意味的なタイプ、②構文論的な特徴 (主として、当該の補助動詞形式が文中でどのような副詞相当句と共起するか)、③形態論的な特徴 (補助動詞にどのような接尾辞がつくか)) に注目して両形式の違いを具体的に提示する。以下では、主動詞のタイプを大きく3つに分け、それぞれについて②と③の観点からの比較と合わせて述べていく。

### 4.1. 主動詞のタイプ1: 主体の動作を表す動詞

*V-(I)p bašta-* と *V-(I)p kir-* の両形式ともに主体の動作を表す動詞が *V* として出現する。以下、出現した用例をみる。まず、*V-(I)p bašta-* はある時を境に、主体がある動作を始めるということを表す。

- (3) *Men 1-klass-ım-dan komuz čert-ip bašta-gam.*  
私 1年生-POSS.ISG-ABL 楽器 弾く-CVB 始める-PST.ISG  
「私は1年生からコムズを弾きはじめた。」

- (4) *Ěki ay murun ište-p bašta-dī-k.*  
 二 月 前 働く-CVB 始める-PST-1PL  
 「(私たちは) 2か月前、働きはじめた。」

*V-(I)p bašta-* の場合、構文的な特徴として、(3) のように開始を表す奪格名詞句と共起したり、(4) の *ěki ay murun* 「2 か月前」のように始動の開始時点を表す語と共起したりする用例がみられる。また、*V-(I)p bašta-* の形態的な特徴として、次の例のように、*-yli* (勧誘) や *-jiz* (命令) や *-ba* (否定命令) という聞き手に対するモーダルな働きかけを表す接尾辞がつく文がみられる。

- (5) *Kel-gile, ište-p bašta-yli!*  
 来る-IMP.2PL 働く-CVB 始める-VOL.1PL  
 「さあ、働きはじめましょう。」
- (6) *öz-ünüz-gö jak-kan kitep-ti oku-p bašta-jiz!*  
 自分-POSS.2SG-DAT 気に入る-PTCP 本-ACC 読む-CVB 始める-IMP.2SG  
 「(あなたは) 自分自身に気に入った本を読みはじめてください。」
- (7) *tiyešelüü maaliment-ka ěě bol-moyunča jaz-ip bašta-ba.*  
 的確な 情報-DAT 所有 なる-CVB.NEG 書く-CVB 始める-NEG.IMP.2  
 「的確な情報を所有しない限り、書きはじめるな。」

次に、*V-(I)p kir-* 形式の場合も主体の動作を表す動詞が *V* として出現する。これらの用例をみると、*V-(I)p bašta-* 形式と異なり、文中に *lepildetip* 「すらすらと」、*burdap* 「パクパクと」などというような動きの激しさ(強烈さ)を描写する副詞相当句が共起して出現する傾向がみられる。また、*V-(I)p kir-* 形式の場合、*V-(I)p bašta-* と違って *-yli* (勧誘) や *-jiz* (命令) や *-ba* (否定命令) のような接尾辞がつく用例は1例もみられなかった。

- (8) *tilmeč orusča lepildetip jaz-ip kir-di.* (9) *nan-di burdap sugun-up kir-di-m.*  
 通訳 ロシア語 すらすらと 書く-CVB 入る-PST.3 パン-ACC パクパクと 食べる-CVB 入る-PST-1SG  
 「通訳はロシア語ですらすらと書きはじめた。」 「(私は) パンをパクパクと食べはじめた。」

このように、主体の動作を表す動詞に後続して現れる場合、両補助動詞ともに「始動」を表す。しかし、「始動」を表すと言っても、その動作の「始動」の意味に違いがみられる。まず、*bašta-* の場合、ある時を境に動作主体がある動作を始めて、その動作が続くことが予想される。また *bašta-* の場合、*-yli* (勧誘) や *-jiz* (命令) や *-ba* (否定命令) を表す接尾辞がつくことから、動作主体の意志性がうかがえる。一方、*kir-* は、動作主体が動作を始めて、その動作が持続する点では *bašta-* と共通しているものの、主体の「始動」における動きの激しさ(強烈さ)が強調される。このことから、*bašta-* は主体の動作が「いつ始まったか」に、*kir-* は「どのようにして動作が始まったか(その状態に入ったか)」という点に重点を置いているという違いを指摘できる。

なお、主体の位置変化を表す移動動詞に *bašta-* が後続する用例がみられた<sup>3</sup>。このような場合、例えば、主動詞の *kel-*「来る」、*čik-*「出る」などの動作が連続的に繰り返されることを表す。つまり、(3)～(9)の場合、ある動作が始まって、その動作が持続をすることが表されるが、(10)の場合、同じ動作が繰り返し行われることが含意され、*bašta-*によって、その連続的な繰り返しの全体の始まりを指すことになる。

- (10) *Birok, ček ara ač-il-gan-da kayra kel-ip bašta-ču.*  
 しかし 国境 開く-PASS-PTCP-LOC 再び 来る-CVB 始める-PST.3  
 「(彼は) しかし、国境が開かれた時に、また来はじめた。」

#### 4.2. 主動詞のタイプ2：主体の現象を表す動詞

*V-(I)p bašta-* と *V-(I)p kir-* の両形式ともに主体の現象を表す動詞を *V* として出現する。これらの現象動詞の場合、いずれの補助動詞形式も3人称過去形で現れるのが特徴的である。以下これらの現象動詞を「人間の生理現象及び心理的な状態変化を表す動詞」と「自然現象を表す動詞」に分けて考察する。

##### 4.2.1. 人間の生理現象及び心理的な状態変化を表す動詞

ここには *titire-*「震える」、*terde-*「汗をかく」などのような人の生理現象を表す動詞、或いは *ooru-*「痛む」、*kapalan-*「悲しむ」などのような人の身体的・心理的な状態変化を表す動詞が入る。これらは主体のなんらかの現象を表すと同時に、変化の結果が一定の時間において持続する変化でもある。

- (11) *Ėki ĵuma murun kulag-im, murdum ooru-p bašta-dī.*  
 二 週 前 耳-POSS.1SG 鼻-POSS.1SG 痛む-CVB 始める-PST.3  
 「二週間前、私の耳と鼻が痛みはじめた。」
- (12) *Ėki kūn-dōn kiyin baš-ī titire-p bašta-dī.*  
 二 日-ABL 後 頭-POSS.3 震える-CVB 始める-PST.3  
 「二日後、彼の頭が震えはじめた。」

*V-(I)p bašta-* の例文をみると、*Ėki ĵuma murun*「二週間前」、*Ėki kūndōn kiyin*「二日後」という始動時点を表す副詞相当句と共起するのに対して、*V-(I)p kir-* 形式の場合、以下のように、始動の様態を限定する副詞相当句と共起して現れている。

- (13) *Ĵürög-ü saygilaš-ip katuu ooru-p kir-dī.*  
 心臓-POSS.3 チクチクする-CVB 強い 痛む-CVB 入る-PST.3  
 「(彼は) 心臓がチクチクして強く痛みはじめた。」

<sup>3</sup> *kir-* も、主体の位置変化を表す移動動詞に後続して使用される。ただし、*kir-* の場合、「入る」という語彙的な意味を表すことになる。(以下の用例は補助動詞の例には含めていない。)

例: *Ošentip №5 mektep-ke kel-ip kir-dī-m.*  
 それで №5 学校-DAT 来る-CVB 入る-PST-1SG  
 「それで、(私は) 第5番学校に来て入った。」

- (14) *Zaken-din ičtey-i ač-il-ip, alka-šalka terde-p kir-di.*  
 PSN-GEN 腹-POSS.3 開く-PASS-CVB びしょびしょに 汗をかく-CVB 入る-PST.3  
 「ザケンのお腹が痛み、びしょびしょに汗をかきはじめた。」

ここから言えることは、人間のある身体的・心理的な状態変化の「始動」を表す点では共通しているが、その「始動」の意味に違いがみられる。つまり、*V-(I)p bašta-* の場合、「始動」が時間的にいつ始まったかという「始動の最初の段階」を指している。一方、*V-(I)p kir-* 形式の場合、「始動の様態」に注目している。単なる始動の様態だけではなく、*saygilašip katuu* 「チクチクして強く」、*alka-šalka* 「びしょびしょ」などのようにある様態の**極端に激しい（強烈さ）** ことを表す副詞相当句と共起して現れることが特徴的である。このことは次節の「自然現象を表す動詞」の場合にも明瞭に現れてくる。

#### 4.2.2. 自然現象を表す動詞

両形式とも自然現象を表す動詞に後続して使用される。しかし、新聞データからは自然現象を表す動詞の文は少なかったため、インターネットのGoogle検索を利用して、用例数の不足を補ったところ、次のような数の用例が得られた。

[表1] *jaa-<sup>4</sup>* 「降る」のGoogle 検索結果 (2021年4月27日実施)

抽出形式	用例数 (延べ語数)
<i>jaap bašta-</i> 「降り始める」	17 例
<i>jaap kir-</i> 「降り始める」	38 例

これらのそれぞれについて共起する副詞相当句の種類を調べると、*jaap bašta-* と *jaap kir-* とで、共起する副詞相当句の種類が異なっていることが分かった。

まず、*jaap bašta-* の場合、17例のうち12例は、時間的關係を表す副詞相当句と共起して現れ、それらの副詞相当句は2種類に分けられる。

一つは、*ubakta* 「～時に」、*tanğa maal* 「朝方に」、*bügün* 「今日」といった**始動の開始局面**を表す副詞相当句が現れる。また、(15)のように開始点を表す *-dön tarta* 「～以降」という後置詞句が現れる用例もある。つまり、これらの場合、「始動の最初の段階」局面に重点を置いていると言える。

- (15) *8-oktyabr-da saat 9:00-dön tarta kar jaa-p bašta-dī.*  
 8 十月-LOC 時計 9:00-ABL 以降 雪 降る-CVB 始める-PST.3  
 「10月8日に9時以降、雪が降り始めた。」

もう一つは、*bir maalda* 「ある時一気に」、*bir ubakta ėle* 「ある時に突然」、*kokustan ėle* 「突然(急に)」といった「動きが急に变化した様子」を表す副詞相当句と共起して現れることがみられる。つまり、この場合、**動きの突発性**を表す表現に修飾限定されている。

<sup>4</sup> *jaap* の形には「閉めて」の意味もあるが、その意味での用例は用例数に含めていない。(Google 検索 2021年4月27日実施)

- (16) *Kokustan ėle kölöm-ü jaŋgak-tay möndür ĵaa-p bašta-dī.*  
 突然 EMPH 量-POSS.3 くるみ-MOD 雹 降る-CVB 始める-PST.3  
 「突然、大きさがくるみのような雹が降りはじめた。」

一方、*ĵaa-p kir-* の場合、37 例のうち、30 例は *samparlap* 「大粒の（雪が降る）」、*kürküröp* 「雷とともに（降る）」、*šatira-šatman* 「勢いよく（降る）」、*lapıldap* 「急に勢いよく（降る）」、*katuulap* 「強めに（降る）」、*borošolop* 「風が強く（吹く）」などの副詞相当句と共に出現した。

- (17) *abairay-i buz-ul-up, nöšörlöp-ĵaa-p ĵaan ĵaa-p kir-di.*  
 天気-POSS.3 変える-PASS-CVB 激しくする-CVB 雨 降る-CVB 入る-PST.3  
 「天気が変わって、激しく雨が降りはじめた。」

- (18) *Ötmök-kö kara-gan-da balpildat-ĵaa-p kar ĵaa-p kir-di.*  
 PLN-DAT 向かう-PTCP-LOC 大粒の雪が降る-CVB 雪 降る-CVB 入る-PST.3  
 「オトモクに向かった時、大粒の雪が激しく降りはじめた。」

*ĵaa-p kirdi* 「降りはじめた」という文だけでは、雨がどのような様子で降りだしたのかが分からないが、*ĵaa-p kir-* 「降り始める」の前に、*nöšörlöp* 「パタパタと」、*balpildat-ĵaa-p* 「大坪の雪が激しく」という副詞相当句と共に起こることで、雨の降り方の様子、それも、その様子が穏やかな状態なのではなく、**極端に激しい状態であるという強烈さを様子として限定して特徴づけられる。**

#### 4.3. 主動詞のタイプ3：主体の変化を表す動詞

主体の変化を表す動詞とは、*güldö-* 「咲く」、*basil-* 「印刷される」、*salin-* 「建てられる」などであるが、これらの動詞類は、*V-(I)p bašta-* 形式のみ現れた。例えば、次のような用例である。

- (19) *Biškek šaar-i-nda ĵoogazın-dar güldöp-ĵaa-p bašta-dī.*  
 PLN 市-POSS.3-LOC チューリップ-PL 咲く-CVB 始める-PST.3  
 「ビシケク市ではチューリップが咲きはじめた。」
- (20) *kitep-ter sentyabr' ič-i bas-il-ĵaa-p bašta-y-t.*  
 本-PL 9月 中-POSS.3 押す-PASS-CVB 始める-PRES-3  
 「本は9月のうちに印刷されはじめる。」

これらの場合、個々の変化は一定の長時間にわたって連続的に行われる。そして、その連続して行われる全体の過程における始まりの局面を指している。このような場合に、*V-(I)p kir-* の用例はみられなかった。なお、これらの用例を *V-(I)p kir-* に置き換えることもできない。

- (19') \* *Biškek šaar-i-nda ĵoogazın-dar güldöp-ĵaa-p kir-di.*  
 (20') \* *kitep-ter sentyabr' ič-i bas-il-ĵaa-p kir-di.*

また、主体の変化を表す *öl-* 「死ぬ」のような動詞の場合、*ölüp bašta-* 「死にはじめる」と用いられるが、複数主体の状態変化に限る点が注目される。一方、*kir-* は、複数主体に限らず、*ölüp kir-* 「死にはじめる」という表現は用いられない。



(21) *janibar-lar jana adam-dar öl-üp bašta-dī.* (Google 検索 2021 年 6 月 2 日実施)

動物-PL と 人-PL 死ぬ-CVB 始める-PST.3

「動物たちと人々は死にはじめた。」

## 5. まとめ

本発表では、*V-(I)p bašta-* と *V-(I)p kir-* 両形式いずれも「始動」を表すものの、その「始動」という文法的な意味に違いがあると主張する。すなわち、*V-(I)p bašta-* が始動の開始局面に重点を置くのに対し、*V-(I)p kir-* は始動時の様態の激しさに重点を置くという違いを指摘した。本発表の記述を表 2 にまとめる。

[表 2] *V-(I)p bašta-* と *V-(I)p kir-* のまとめ

文法的な条件		<i>V-(I)p bašta-</i>	<i>V-(I)p kir-</i>
主動詞の意味 的なタイプ	動作動詞	出現可能	出現可能
	現象動詞	3 人称過去形 <i>-dī</i> で出現	3 人称過去形 <i>-dī</i> で出現
	変化動詞	出現可能	出現不可
構文的な特徴	共起する副詞	始動の開始局面を表す	動きの激しさ (強烈さ) を表す
	相当句	動きの突発性を表す	様態の極端に激しさ (強烈さ) を表す
形態論的な特徴		<i>-yli</i> (勧誘)、 <i>-yiz</i> (命令)、 <i>-ba</i> (否定命令) などの接尾辞が後続可能	左欄の接尾辞は後続不可

## 略号

ABL奪格 / ACC対格 / CVB副動詞 / DAT与格 / EMPH強調 / GEN属格 / IMP命令 / LOC位格 / MODモダリティ / NEG否定 / NML名詞化 / PASS受身 / POSS所有 / PRES現在 / PSN人名 / PST過去 / PTCP形動詞 / PL複数 / PLN地名 / VOL意志 / SG単数

## 参考文献

- Anderson, Gregory David (2004) *Auxiliary verb constructions in Altai-Sayan Turkic*. Wiesbaden: Harrassowitz Verlag.
- Anderson, Gregory David (2006) *Auxiliary verb constructions*. Oxford Studies in Typology and linguistic theory. New York: Oxford University Press.
- Johanson, Lars (1999) Typological notes on aspect and actionality in Kipchak Turkic. 171-184. In: Werner Abraham and Leonid Kulikov (eds.), *Tense-Aspect, Transitivity, and Causativity: Essays in Honor of Vladimir Nedjalkov*. Amsterdam: Benjamins.
- Ohsaki, Noriko and Ebata, Fuyuki (2021) Verb-verb complexes in Central and Eastern Turkic languages. 430-454. In: Taro Kageyama, Peter E. Hook, and Prashant Pardeshi (eds.) *Verb-Verb Complexes in Asian Languages*. Oxford University Press.
- Nasilov, Dmitriy (1978) Formy viraženiya sposobov glagol'nogo deystviya v altajskix yazıka. *Očerki sravnitel'noy morfologii altajskix yazıkov*. 88-178. Nauka, Leningrad.
- Ščerbak, Aleksandr Mihaylovič (1981) *Očerki po sravnitel'noy morfologii tyurkskix yazıkov (Glagol)*. Nauka, Leningrad.
- 大崎紀子・シャミシエフ ナズグリ (2018) 「キルギス語の補助動詞 kal-の意味と本質—アスペクトと共起制限をめぐる二つの疑問—」林徹ほか (編) 『ユーラシア諸言語の多様性と動態—20 号記念号—』、345-362. ユーラシア言語研究コンソーシアム.